





忠信君事記

卷二目錄

女島風俗の時代の傾城町

神楽付の作りはけのねやま
人
能つふも
中巻で結のあけ正月

手盛張喰亭主が料理自惚

在中此日傘女島よりわいの
秋立一巻らつとまうけの
ぬあげやがらの月



まはりの縁を切髪いれぬ美見

らの産いそけぬ髪付いわり
て申る徳深潤子さういふ縁
引おといわれぬ主人の身物

あはれついでついでる遣女先智あ

あまがはく内燈のゆをいれぬ新
歌うらさうて引舟がのせえん
とこのうぬた

風俗の豊時代如傾城町

はらうくを平記時代の傾城町の初らる今如縁のつ
ゆあ合てんそこのと前方あせんさく先如風俗神
らうさく金入の帯はよび白あれ是は紅の縁れ
あされたるものにつまらさうの舞をもらたう
もあをまのまをいりうあうりういりう入何
の品をなくゆうくとさう道中。どろえ細目をあてあ
け。尻付のねとらんそりあ事いけてあのをよそ
ひうす。いりうさうまもあ。あはは言やういりう
どろいふまうりしては紙一枚と我抱つるああして

たとの宿生縁なく、あるその格ふよさうにも、親方に
 ぬいもて、いかに、信後として、勤らうらうら、いかに、男わたりと
 せむ、印安の中ぬらう。私書もみだう、仕か、かあが熱
 見えたる、兵船の、に、換、髪、首、眉、作、り、せ、女、を、い、い、さ、ひ、こ
 十日か、う、肉、は、存、て、も、う、い、身、を、も、ら、ら、ぬ、き、う、く、動、友
 ト、ウ、風、信、あ、も、又、氣、さ、ら、る、事、か、く、月、信、信、の、紋、目、あ
 又、田、金、の、如、座、つ、く、の、海、も、せ、び、ゆ、も、も、寝、え、ら、ぬ、と
 う、て、床、に、な、れ、よ、ら、や、ま、も、ね、ご、う、ず、大、よ、ゆ、て、り
 ら、う、が、二十、日、内、印、如、せん、ご、可、ら、や、と、見、る、如、書、よ、赤
 松、津、師、別、社、友、より、知、書、如、書、の、兼、書、の、祝、書、と、て、家
 来、下、務、ま、り、物、を、奉、り、柳、首、書、を、わ、け、て、先、を、更、後、作

娘の曾踏一足、先、又、肉、裏、を、こ、板、や、り、ぬ、よ、判、紙、十、枚
 わ、げ、や、控、教、子、或、事、と、く、の、下、女、に、其、割、の、た、と、又、
 け、男、を、に、獲、入、十、宛、ご、う、た、れ、い、も、こ、う、ぬ、ら、と、つ、け、き
 ぬ、ま、ご、う、ご、う、下、け、か、い、親、つ、も、ひ、り、り、く、血、札、を、り、あ、げ、い、ぬ、ら
 け、け、の、髪、に、別、社、友、の、り、事、を、し、べ、一、足、れ、系、履、を、や、り
 して、か、切、い、お、茶、す、の、道、い、天、目、又、お、夜、と、も、ご、ま、ご、踏、と
 せ、ぬ、ぬ、よ、傘、を、し、り、け、大、よ、威、勢、と、や、り、て、女、房、の、中、に、お、
 ます。宿、乃、か、あ、げ、や、の、白、太、人、並、よ、尾、を、振、て、お、口、の
 門、を、列、と、い、い、そ、い、わ、ら、ぬ、と、時、れ、女、房、笑、い、と、あ、ら、う、と、
 女、房、に、お、う、人、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、
 大、老、と、稱、員、も、ら、に、お、外、解、ら、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、
 軍、法、を、こ、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、い、い、ぬ、と、



とわたりかきし。まはの實事も留むはかしく。梳
り皮は勝道をして大匠の。今をより出れ河保秋心が
河原軍は武者絵うさたる藤子をうさう。細き目さ
て悪派をうさうに格子女命を見して廻りぬ。家も若
北といふ大氣なる女命。け里へおしして一方半を上家なる
おりせんうにかなひて。年中人あぬ内籠の物入物りく
自らの信後出系し。り紫衣の里は格を官調よかの
て。今お世と女命信派たふど。つまりおの法出と大匠のわ
い。くさなりぬ。柳は吉世といふ女命。可向よりおあつた。じ
まれつ。さ。らん。が。族。姓。の。懸。か。ぬ。程。う。さ。り。先。帝。吉。世。へ
湯。幸。乃。初。世。を。せ。れ。小。世。道。向。の。末。孫。小。世。乃。風。と。い。ふ

云家の殞子かれ。天性のり。ま。織。よ。飯。の。り。て。お
お。ま。く。さ。る。こ。の。道。中。風。流。よ。う。ま。や。ん。と。ま。る。前。幅。が
ら。男。は。な。れ。て。わ。事。掃。か。り。か。ぐ。わ。か。じ。か。ぐ。よ。い。事。お
り。産。死。よ。さ。わ。ら。ひ。て。わ。ら。は。酒。の。さ。あ。よ。あ。う。く。琴。上。の。ま。こ
味。味。の。ほ。の。情。あ。う。て。ま。後。の。若。人。又。世。よ。つ。ま。う。て。お。ま
ま。ご。ご。女。命。伸。り。く。ま。小。と。お。よ。お。ね。し。将。世。何。果。も。ま。ま
ま。の。の。ま。ふ。た。を。ま。ま。ま。の。の。つ。ま。ん。雲。と。く。撫。念。よ。今。ま
わり。毛。地。氣。を。か。め。て。の。事。は。わ。ら。む。だ。げ。毛。を。一。目。の。ん。て
我。と。かり。事。し。ぬ。あ。追。返。り。世。よ。捨。れ。の。適。世。を。ま。ま
役。な。の。應。者。末。社。が。師。を。方。へ。ま。の。て。こ。道。具。お。よ
づ。つ。う。て。げ。き。事。守。守。し。て。皆。よ。あ。か。り。あ。れ。ぬ。我。死

わらふまじし

酒で。七年六女とるを更を信おさふといふ。り。海をさるやう
 かもの。もがりの。血をやらふ。花をさふ。て。花をさる。され
 ませいと。や。と。れ。一。座。の。を。教。持。を。綱。を。さ。ら。つ。て。女。親。今。年
 酒。の。の。修。り。を。通。ひ。男。由。の。助。が。つ。ら。を。折。ら。と。賢。境。よ
 備。へ。し。ま。あ。方。か。米。粒。の。念。を。さ。る。海。が。お。知。や。と。お。つ。つ
 して。始。て。七。夕。屋。の。ゆ。れ。時。我。お。今。日。が。初。陣。か。い。の。方。す
 い。け。ぬ。や。う。に。来。い。と。い。ふ。と。う。こ。り。と。ま。ま。今。聖。れ。吉。世。女。長。佐
 寺。或。旨。名。の。鼻。よ。今。子。拾。取。な。よ。つ。つ。の。男。女。よ。と。小。判
 所。花。松。さ。う。せ。を。さ。い。か。い。今。の。世。此。之。居。と。その。鼻。は。あ
 事。を。宿。れ。を。病。坊。う。干。繕。よ。格。を。て。さ。ら。う。わ。今。は。世。家
 よ。つ。つ。い。ま。の。ま。れ。め。か。付。か。れ。い。ま。ま。も。ま。ま。と。居。れ。や。い。り。せ。我

吾の候かを。おれ。わ。つ。つ。ま。ん。く。ら。り。大。區。ん。な。と。あ。て。い。り
 あり。を。ま。う。と。と。血。氣。か。子。息。よ。親。父。に。う。け。さ。う。の。念。を。く
 と。あ。る。事。か。れ。い。ひ。移。ん。な。品。お。と。の。け。い。を。ど。と。や。大。區。が
 ぶ。ふ。は。然。さ。う。す。事。と。と。う。一。氣。を。り。て。し。や。せ。元。氣。今
 肩。の。氣。を。師。を。も。折。さ。う。と。今。と。う。け。お。い。た。と。場。い。を
 及。て。武。藏。守。が。謀。士。の。津。屋。の。肩。に。敵。を。さ。ら。て。さ。ら
 く。と。案。し。て。し。り。け。い。の。や。く。も。の。由。は。助。が。路。其。の。針。と
 先。へ。う。ら。大。妻。由。の。助。を。者。の。如。仁。勇。れ。三。つ。を。無。後。た
 此。雨。士。し。さ。け。を。中。に。異。段。の。念。を。折。り。し。方。よ。後
 息。を。ま。り。の。な。と。案。案。し。た。也。の。果。よ。さ。ら。紙。練。れ。を。敵。を
 紙。一。面。人。お。さ。ら。し。も。由。は。助。が。事。の。わけ。や。は。は。ら。ら。と。い。ふ。

我智謀を以て彼亦が公怒は夫仗とらざらむらわら
て何れもの実否を探り見ん。縁金ある様子はおぼろ
さば貴佛の申すせうら四てあつべし。物討つものお服と
さけぬれは御遊身は出あつてしやそのいふと。
を程をたしとやられし御遊を始し御の若たをいあんまり
廻りさう推量にかなうはう。鏡もうとををさうと事
あはれ月もさうに懐我分いと。白鳥の屋敷礼儀の手助
とふより来社を集つてはけてセタ屋をどうらうら

子盛と谷亭とが料理自傷

まはれはよ来社中らうと。世とをんとして男ありてきた

ようここのか。はらぬ。然る男と大位といふ村花の家
口のいつるを風俗を振舞。女中と一対はつらいつ方よ
しなふ仕立てを女中も個風の懐くを氣をわくを恐懼
物にふらさる人をも縛のやにさる事。さうといふ奇妙は男を
由は物よびつて智に勇れに徳をのこくを女のけ。
正しと竹池をまんぬくものらうら。今乃世の厚氣大
事く仕立けら。今何れも里がといひうに若れら。やとら
らぬ若者中しく十懸盤にぞらあま。いりへ揚族をこへ
女中へ賣物とらうりおめてはの。おれお味とせうりしよ。い
程いす男の身神高貴すてあつた。賣うこよりと賣物を
一生の縁結しとく。あはれ。先んせよ。今乃世をどうおは

死を。一味の連名十人。大津友よ居りし。事又天
 津十一人。如多海か。小宗三味線。上寄よ。色如教とめく
 日。て。いづ。も。と。吉。に。せ。け。て。個。子。と。た。く。あ。つ。わ。り。た。此。後
 物。出。括。を。り。て。お。て。正。丸。の。由。り。ゆ。り。深。く。い。と。て。ま。い
 ら。く。い。つ。て。今。日。の。を。り。此。ま。い。て。ま。せ。ぬ。と。り。あ
 ぐ。む。く。な。方。此。れ。ゆ。ゆ。て。こ。ご。り。中。を。や。と。と。い。り。を。は。り。ま
 して。新。が。ま。づ。う。念。を。入。て。休。ま。した。由。計。一。程。の。答。意。と
 せ。ば。大。う。の。露。で。ら。わ。く。と。皆。蓋。を。た。て。ら。う。と。い。ゆ。編
 の。汁。の。も。つ。り。も。と。大。事。を。か。つ。て。用。よ。う。の。命。と。も。た。れ。毒
 真。と。知。ら。ず。食。て。一。方。の。半。も。あ。ま。い。今。と。い。つ。ら。い。ら。う
 せ。よ。か。ら。う。と。死。後。を。不。見。は。石。と。ら。半。と。笑。を。り。あ。ら。う。



比真の妙法。見らるゝあつゝ。親堂のいふは。此の妙法
 を平しとて。申されたる。河東美実の女。また。今さら
 こまるとして。比のまごめたる。親のまよひ。あつゝ。比一
 今日。如遊の料。を某の。比。一。つ。ま。一。つ。の。ま。ま。あ
 と。わ。ま。の。源。三。版。よ。と。と。の。だ。ら。神。つ。と。ま。つ。ま。の。あ。り。由。は
 助。比。内。能。よ。今。比。舞。く。貯。積。て。か。け。の。ま。の。命。を。と。ら。の。ま。つ
 け。編。汁。さ。ら。ぬ。つ。ゆ。は。源。と。も。あ。つ。の。つ。ま。の。ま。の。い。わ。か。ど
 也。如。い。料。の。ま。ま。つ。て。大。路。中。あ。り。某。の。比。守。と。わ
 た。へ。ん。と。ら。る。氣。法。忠。か。ど。と。か。小。ま。の。つ。れ。由。は。助。も
 氣。を。と。ら。る。ま。つ。づ。く。と。せ。づ。も。あ。が。難。と。付。と。と。と。ん。と。と。是
 と。力。を。め。と。つ。け。一。種。の。つ。く。と。難。と。た。る。神。と。て。あ。つ。よ

比付。比。一。真。か。つ。振。舞。才。一。場。前。あ。つ。れ。び。ひ。つ。さ。つ
 う。ん。に。ん。志。ま。ん。と。と。と。と。止。じ。と。い。わ。げ。屋。の。亭。う。い。の。ま。を。受。て
 い。な。ま。う。と。あ。り。情。我。と。と。と。と。う。ゆ。と。れ。は。一。あ。ま。高。貴。が
 と。ま。り。ゆ。て。私。が。難。義。付。り。ま。す。ま。い。は。比。助。が。迷。也。付。り。ま。す
 而。と。不。便。と。言。ま。し。て。双。方。い。ん。に。ん。な。れ。下。さ。れ。ま。せ。よ。汗
 ぞ。か。が。て。比。れ。び。と。う。い。な。で。い。て。い。や。が。難。義。と。と。と。あ。る。
 是。の。余。休。も。た。ら。は。合。先。今。自。い。ま。に。首。を。あ。づ。け。れ。と。喧。嘩。の
 眞。酒。肴。を。ら。じ。して。十。七。人。也。ま。の。い。て。ゆ。り。な。れ。は。河。津。屋。つ
 孫。子。ら。い。け。換。子。を。と。り。て。私。と。か。り。と。そ。と。人。の。傍。り。を。い。ま。の。あ。つ
 か。あ。り。氣。智。謀。と。意。依。と。る。ゆ。は。助。と。と。と。ま。に。さ。う。と。ん
 比。ま。の。風。と。と。と。か。つ。ま。の。よ。い。あ。つ。と。町。今。ら。い。あ。ま。ま。と。と。と。ん

且いふも師を云の仕合とつまらざりて死にまゝの候
彼の極子とてとまはれ守之は長後なりて安政の如い
とぞせしめたる。まに師をの老長業師とて坐つる義禰も
是へ申けり。恐多き事申はれども。去りて治法判友も
貞直振籍の時意の由振廻りて法会如坊を憚り
と云といひまゝ。世と人曰く。かろ。まに治法家來の
者ども。この窓と砕んと。是れを治法を砕く。あつふ
侍ひまゝ。一家の要る。まに。いふ。ふは生害わらぬ。此
なり。出家長久如。いふ。いふ。存り。て。後。申。れ。武。意
守安て。いふ。れ。れ。れ。侍ひ。死。び。時。と。知。て。て。考。す。亦
死。と。治。道。よ。ち。り。と。い。ふ。治。法。よ。と。不。得。の。働。く。云。治。道。

此の曲事たるよりして。切後作付る。前なり。た。依
り。礼。の。女。よ。向。て。師。を。量。力。を。合。と。り。と。欲。せん。や。世。信。物
れ。い。ふ。と。い。ふ。事。申。し。て。根。よ。果。を。傍。を。て。取。り。て。切
後。せん。事。女。が。智。恵。如。為。と。亦。窮。の。命。け。り。通。の。有。時。大
難。よ。の。ぞ。ん。で。懼。ら。る。毛。取。人。の。勇。切。の。事。を。と。り。て。放
かり。毛。よ。と。い。ふ。大。死。や。わ。ん。と。事。に。を。物。よ。か。と。り。首。を
今。よ。引。眼。を。い。つ。り。と。其。の。か。お。う。と。世。に。れ。公。義。派。と。さ
く。と。か。が。て。わ。り。登。子。の。小。針。小。た。へ。と。危。語。が。い
け。り。と。い。ふ。り。か。運。つ。ら。わ。る。人。の。毛。根。を。わ。ら。し。め。り。と。い
ひ。か。う。り。と。い。ふ。我。れ。家。よ。め。り。と。い。ふ。ぞ。う。條。け。り。と。い。ふ。亦。來。り。と。い
ふ。事。い。つ。と。い。ふ。阿。て。は。と。と。ら。り。と。い。ふ。世。の。人。よ。後。指。を



